



sterEOS (脊椎・下肢特殊長尺撮影装置)

sterEOS (脊椎・下肢特殊長尺撮影装置) は、立った状態での全身撮影を行います (図 1)。これにより椎体の位置や角度、傾き具合などを計測して定量的に把握することができるため、様々な疾患の手術計画や治療経過、または症状の進行の経時的なモニタリングに役立っています。(例：側弯症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、変形性股関節症など)。また、全身撮影だけでなく、脊椎や下肢のみの撮影も可能です。

【sterEOS の特長】

- ① 立った状態での全身の正面・側面像を同時に撮影することが可能
立った状態と寝た状態では体幹に差が生じるため、普段生活する立った状態での撮影が重要です。sterEOS では 1 回の撮影で正面と側面の 2 方向を撮影することができます (図 2)。
- ② 撮影時間が短い
撮影範囲の決定に 5 秒程度、その後全身撮影に 30 秒程度で撮影可能です。患者さんの状態や症状によって差はありますが、全部でおよそ 5 分程度の検査となります。



図 1
sterEOS 装置



図 2
sterEOS 装置での全身撮影